

特集① 酒井隆明市長がめざす丹波篠山の未来とは――

酒井市政、始動。

2月12日に告示された丹波篠山市長選挙で、無投票で6選5期目の当選を果たした酒井隆明市長。2月13日には、職員が拍手で迎える中、初登庁しました。

ここでは、市役所で開かれた記者会見の内容をお知らせします。



―無投票当選について―

選挙はしたほうが良いと思いますが、当選させていただけ、大変光栄に思っています。期数が増えていくことで、最初は期待であったとしても、だんだん市に対して、まちづくりに何をしたいのかということが問われてきます。その中で5期目の当選ということは、大変ありがたいことだと思います。今までのまちづくりの方向性を評価いただいたと思います。

―5期目の抱負について―

いきたいと思っています。時期を見て、検討会を立ちげます。

―財政状況について―

財政はかなり良くなりましたが、予算を組むのに、まだ苦労しています。篠山再生計画に続く、新たな計画を来年度中に策定していきたいと思っています。

―少子高齢化について―

来年度から3年間、旧篠山町地域での過疎対策事業

―農業分野では、兼業農家や家族的農業など「小農」と呼ばれる農家も含めて、具体的な支援に取り組みます。例えば、三戸以上集まってもらえば、農機具の購入支援などを行い、農家の戸数をできるだけ維持し、それにより農村の集落が維持できるように取り組みます。あわせて、農都のめぐみ米や、オーガニックビレッジ(※1)など、丹波篠山の環境を生かした農業をすることで、ブランド化を図っていきます。―

町並みについては、城下

―町の無電柱化によって、まちの景観がよくなりました。こうした町並みをよくする中、5月には伝統的建造物群保存地区の全国大会が行われますので、城下町地区と福住地区の歴史的な町並みをこれからも生かしていきます。また、景観と農地を守ることは、市において大きな未来につながる財産です。きちっと守っていくことがまちの発展につながると思います。―

子育てについては、明石市に負けないよりよい子育て環境を整えます。引き続き

―地域医療について―

地域医療は当面の大きな課題です。兵庫県に立ち会いを求めて、兵庫医科大学との協議を始めていきたいと思っています。今、撤退されり立ちません。まずは、兵庫医大と連携の継続を第一に進める方向で協議を続けます。

市としては、将来にわたって兵庫医大に担っていただきたいと思いますが、兵庫医大の総意として、ささやま医療センターを負担に思われるのであれば、他の方策があるのかどうかを考えなければいけないと思っています。

集大成としての4年間、精いっぱい頑張ります。できる限り、いろいろなことをひとつひとつ解決していきたいと思っています。

(※1)これまでの有機農業者個々の取り組みの推進に加え、より強固な生産、加工、流通、消費までを一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のことをいいます。



初登庁



市長訓示



当選証書付与式



“成しとげます！” 「日本の宝石 丹波篠山市」”



第45回 全国伝統的建造物群保存地区協議会 総会・研修会 (丹波篠山市大会)

【とき】 5月22日(月)～24日(水) 【会場】 田園交響ホール / 篠山伝建地区
福住伝建地区 / 今田地区

【主な予定】

22日(月) 特別基調講演

無電柱化でご指導いただいた菅義偉さん(前内閣総理大臣)が登壇。歴史的町並みの活用について講演

【場所】 田園交響ホール

前内閣総理大臣
菅義偉さん



- 講義Ⅰ：講師 村上裕道さん(京都橘大学教授)
- 首長サミット

23日(火) 24日(水) 研修会・視察

研修会

- 講義Ⅱ：講師 黒田龍二さん(神戸大学大学院名誉教授)
 - 事例発表
 - 住民パネルディスカッション
- 【場所】 田園交響ホール

現地視察研修

・篠山伝建地区・福住伝建地区

【見どころ】

- ・110年ぶりの鉾復活巡行
- ・多紀小学校金管バンドによる演奏
- ・篠山小学校による子どもガイド



丹波篠山市の伝建地区の概況

篠山伝統的建造物群保存地区

所在地：丹波篠山市東新町、西新町、南新町、北新町、河原町、小川町および立町の一部

篠山地区では、2004年(平成16)に国の選定を受けました。保存地区の範囲は、国指定史跡篠山城跡とその周囲に町割りされた旧武家町、旧商家町からなり、東西約1,500m、南北約600m、面積約40.2haに及びます。

篠山城跡を核とし、武家町や商家町の町割りを残すなど、近世の城下町の基本的構造を良く残すとともに、武家屋敷や近世から近代にかけて建てられた商家および寺院など、城下町の要素を全体としてよく残し、その歴史的風致を良く今日に伝え、全国でも価値が高い町並みであると評価されています。

選定から18年が経過するなかで約100件の保存修理および修景工事が進み、無電柱化や道路の美装化が実施されるなど、歴史的風致が向上し、町並みが整ってきています。



特集②

5/22-24

伝統的建造物群保存地区

全国大会

を丹波篠山市で開催します

5月に第45回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会が丹波篠山市で開催されます。市内では、篠山地区と福住地区が伝建地区として選定されています。ここでは、篠山地区と福住地区の概況や、全国大会の内容についてお知らせします。問い合わせ 文化財課 ☎5552・5792



重要伝統的建造物群保存地区(伝建地区)とは

伝統的な建物が群として良く残っている地区の中でも、特に国にとって大切にしたい地区として選ばれた地区をいいます。現在、全国で126地区が選ばれ、兵庫県下では5市6地区が選ばれています。

【兵庫県重要伝統的建造物群保存地区一覧】

- ・丹波篠山市篠山(城下町)
- ・丹波篠山市福住(宿場町・農村集落)
- ・神戸市北野町山本通(港町)
- ・豊岡市出石(城下町)
- ・養父市大屋町大杉(山村・養蚕集落)
- ・たつの市龍野(商家町・醸造町)

福住伝統的建造物群保存地区

所在地：丹波篠山市福住、川原、安口および西野々の各一部



福住地区では、2012年(平成24)に国の選定を受けました。保存地区の範囲は、東西約3,260m、南北約460m、面積約25.2haに及びます。

宿場町として発展した町並みと、街道沿いに形成された特徴ある農村に、妻入を主体とした、つし二階建瓦葺や平家建茅葺の伝統的建造物が、周囲の田園および特徴ある灌漑施設等の環境と一体となって、宿場町とそれに隣接する農村集落の歴史的風致を良く伝え、全国的にも貴重な町並みとして高く評価されています。

選定から10年が経過し、約40件の保存修理および修景工事が行われ、約40人の移住者がありました。そして伝統的な建物を利用したおしゃれな店舗や事業所などが増え、市内外から多くの人を訪れるホットな地域になっています。

(株)岡本銘木店

特集③

問合わせ 創造都市課 ☎552・5106

丹波篠山市では、「農工団地」(※1)という工場等を誘致するために土地利用を指定した地区があります。

このほど、農工団地篠山中央地区約7.5畝に2社の企業進出が決定し、3月には株式会社岡本銘木店が工場の操業を開始しました。

(※1) 農工団地とは、農業従事者の農業以外での雇用の創出による農村地域の持続的な発展に資することを目的とした、国の法律に基づき産業を導入する地区のことをいいます。

市では、昭和の時代に企業が立地した泉工業団地のほか、日本チバガイギー株式会社が立地する日置地区、黄桜株式会社が立地する今田町本荘地区など、市内に11カ所あります。

篠山中央地区は平成20年に農工団地に指定され、篠山中央地区への企業誘致としては第1号となります。

木材の可能性を追求

株式会社岡本銘木店は、大阪府吹田市に本社を置く木造建築物の部材の加工を行うプレカット事業を展開する会社です。

プレカットとは、大工さんが手工具で加工していたものを機械で行う技術です。作業効率のアップ(工期短縮)や、品質の均一化、精度の高さが特徴です。材料や時間的ロスの軽減など、コストの削減に加え、端材や加工時に出る木くずなどを現場に残すことが少ないので、環境にも優しく、多くの木造建築で活用されています。

完成した丹波篠山工場は、工場棟2棟、倉庫2棟、サイロ棟1棟の計5棟からなり、その全てが木造建築で、倉庫2棟を除く3棟は自社でプレカット、建て方は全て自社作業したものです。同工場では現在、15人が勤務されており、当面は三田市にある三田工場で行われていた柱や梁などの構造材の加工を担います。

この地を選んだのは、インターに近い立地と広大な土地。そして、市が企業誘致に非常に前向きだということが決め手でした。

わが社は、木造建築のためのあらゆる部材の生産・加工・出荷に対応し、加工した木造建築資材は、近畿圏全域の大手ハウスメーカーや地場工務店に出荷しています。現在は、住宅以外の倉庫をはじめ、事務所や店舗倉庫などの販売にも力を入れています。また、木造でできるものは、鉄骨ではなく木造に転換させることで、SDGsの炭素の固定化にも取り組んでいます。

丹波篠山工場が操業し、年間の加工量は5万坪(約1600棟分)を見込めるようになりました。今後は市民の皆さんを雇用し、安定運営につなげていきたいと思えます。資格は必要ありません。準中型免許取得の支援もありますので、ぜひ一度、お問い合わせください(080・1467・5425/岡本まで)。

市では、地域活性化に向けて、「働く場の創出」市内企業の振興を目的に企業の誘致や支援を行い、魅力あるまちづくりに取り組んでいます。このほど、大阪府吹田市に本社を置く株式会社「岡本銘木店」が農工団地篠山中央地区(北)に進出し、2月25日に新工場の完成を祝う記念式典が行われ、3月から操業を開始されました。



会社概要

- **本社所在地** 大阪市吹田市岸辺北5丁目32番1号
☎06-6388-3411
- **設立年月** 昭和34年6月
- **資本金** 7,500万円
- **事業内容** 一般木材、銘木、集成材、住宅設備等の販売/美術欄間、彫刻品の加工/プレカット加工など
- **国内拠点** 三田工場/京都工場/丹波篠山工場
- **従業員数** 160人

インタビュー 従業員の皆さんに聞きました



自分の大好きな地元で工場ができ、とてもうれしいです。当社には、特殊なスキルは必要ありません。人材育成制度で個人がスキルを磨き、しっかりキャリアアップできる会社です。

本店営業部 営業課 本店長 **酒井俊輝**さん(写真左)

CAD(コンピューターを使用して作図できるシステム)を使って、機械に通す加工データを作成しています。自ら作成した製図をもとに、実際の製品が完成したときの喜びはひとしおです。

プレカット事業部三田工場 課長 **眞野智史**さん



株式会社岡本銘木店 取締役専務 **岡本尚哉**さん